

データあり

令和6年10月1日

市政記者クラブ 様

東山総合公園
担当 動物園 永田・佐橋
TEL 782-2111

ホンドギツネの「紺」が死亡しました

昨日（令和6年9月30日）、東山動植物園で飼育展示していたホンドギツネの「紺」が死亡しましたので下記のとおりお知らせします。

記

1 死亡個体

- ・ 種 名：ホンドギツネ
- ・ 性 別：オス
- ・ 愛 称：紺
- ・ 年 齢：推定16歳（2008年石川県生まれ（推定）、来園日2009年12月14日）

2 死亡までの経緯

高齢により足腰が弱くなり、最近ではふらつくことが多くみられるようになったため、展示中止として屋内でゆったりと過ごしていました。死亡当日の朝も落ち着いて寝ている様子を確認していましたが、14時ごろに死亡しているのを飼育係員が確認しました。

3 死亡原因

老衰

4 エピソード

- ・ 2009年5月17日に石川県金沢市大桑町で親とはぐれて衰弱した状態で保護され、その後、いしかわ動物園において人工哺育で育てられました。
- ・ 約1歳のときに東山動植物園に来園しましたが、人工哺育で育ったためか、来園当初から人懐っこい穏やかな性格で、新しい生活にも比較的早く慣れてくれました。
- ・ 一般的に隠れがちなキツネと違って、人をあまり恐れることがなかったので、かわいらしい姿を多くの方に見ていただけていました。
- ・ 令和元年9月16日には敬老の日になみ、長寿動物の表彰を受けました。
- ・ 高齢期になっても、昨年まで食欲の衰えも見せず元気に過ごしていました。

5 献花台について

令和6年10月2日（水）から10月14日（月・祝）まで、こども動物園エリア日本産動物舎前に設置します。

【参 考】

■東山動植物園のホンドギツネ飼育数

紺の死亡によりホンドギツネは展示終了となります。

■ホンドギツネについて

- ・北半球全域に広く分布するアカギツネ（学名：*Vulpes vulpes*）の亜種で、国内の本州、四国、九州に分布している。平野から高地の森林や雑木林などに生息しているが、人里近くにも姿を見せることがあり、名古屋市内でも確認されている。
- ・毛色は赤みを帯びた黄褐色で、胸や腹のあたりは白っぽい。北海道に生息するキタギツネより小さく、キタギツネと違い四肢の先は黒くない。
- ・食べるものは、ほ乳類、鳥類、爬虫類、昆虫などの動物から果実、穀物まで幅広く、生活環境や季節によって変わる。
- ・1回の出産で2～7頭の子を産むが、野生下では1歳まで生存する確率がとても低く、寿命は3～5年程度。飼育下では約10年。

■写真



在りし日の紺（令和5年11月29日撮影）